

概要

数m離れた位置から認証することができるUHF帯ICタグを利用し、車両と歩行者の両方の入退管理を一括して行いました。

導入背景とご要望

- 物品盗難の抑止のため、関係車両以外の侵入を防止したい。
- 大型車による搬出入が行われるため、一般的なFeliCaカードでは、認証がしづらく入場渋滞につながってしまう。
- 徒歩で入構する方に対しても、車両と同じシステムで入退管理し、管理を効率化したい。

弊社ソリューション

UHF帯域タグ認証装置

ドライバーが運転席の中からUHF帯域タグを翳すことで、認証を行うことができ、リーダへの幅寄せが必要ありません。上下2段に設置されたアンテナにより、普通車・大型車に対応し、音声やLED表示により、利用者にわかりやすく案内が可能です。同乗者がある場合でも、複数のタグを読み取り、LEDで認証枚数を表示することができます。

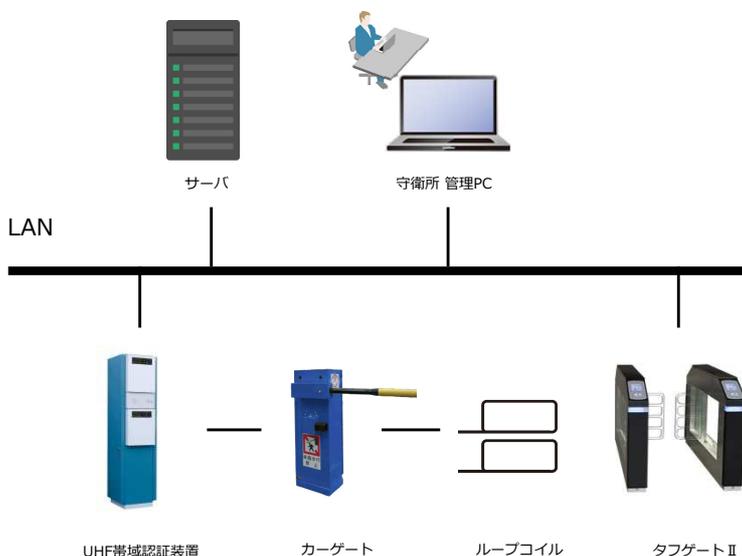
タフゲートⅡ

半屋外環境で使用することができ、自転車通行にも対応するセキュリティゲートです。本案件ではカーゲート横の歩行者通路に設置されており、UHFリーダを筐体内に実装することでUHF帯域タグを読み取る仕様としました。

入退管理アプリケーション

車両、人の入退履歴を一括して管理します。利用者の登録、修正のほか、構内の滞在時間が一定値を超えた際に発報するなどの機能を有します。

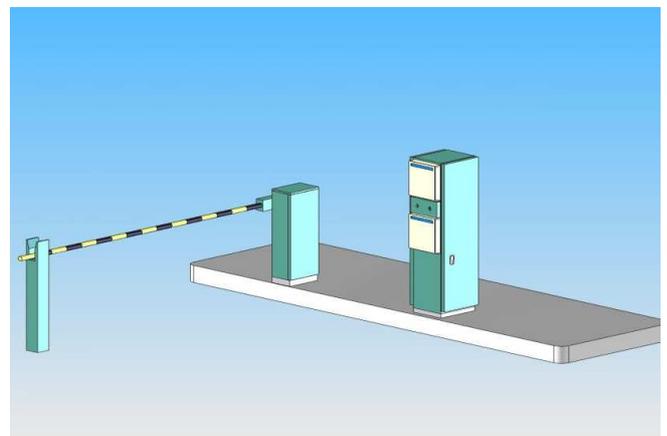
システム構成図



※別途、総務省へ構内無線局の申請が必要となります。



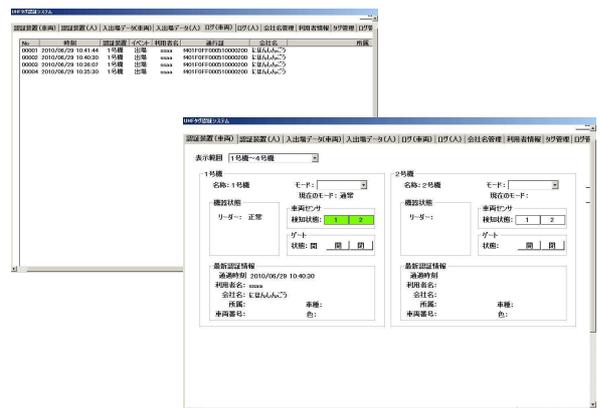
港湾関連施設の厳格な入退管理に寄与



UHF帯域タグ認証装置/カーゲートの設置イメージ



半屋外対応セキュリティゲート



入退管理アプリケーションにより
車両と人を一括して入退管理